

平成 20 年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果（大阪市の概要）

調査の概要

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力が低下している状況にかんがみ、国が全国的な子どもの体力の状況を把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組みを通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や生活習慣、食習慣、運動習慣を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査の内容（実技に関する調査。測定方法等は新体力テストと同様）

(1) 児童生徒に対する調査

ア 実技に関する調査

小学校調査〔8種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

中学校調査〔8種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走(※)or 20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

(※)男子は1,500m、女子は1,000m

イ 質問紙調査

生活習慣、食習慣、運動習慣に関する質問紙調査

(2) 学校に対する質問紙調査

体育的行事の実施状況、体育専科教員の導入状況などの質問紙調査

3. 調査対象

小学校第5学年・特別支援学校小学部第5学年

中学校第2学年・特別支援学校中学部第2学年

調査の参加状況

- ◇ 小学校 116校 38.8%（全国 71.0%） 6,644人
- ◇ 中学校 32校 24.8%（全国 70.1%） 3,900人

調査の結果

小学校		人数	種目別平均								合計得点
			握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	
			単位	kg	回数	cm	回数	回数	秒	cm	
5年男子	大阪市	3,888	16.73	18.75	31.95	36.83	42.96	9.45	151.54	25.21	52.03
	全国	394,797	17.01	19.12	32.68	40.98	49.40	9.39	153.95	25.40	54.18
5年女子	大阪市	3,675	16.38	17.24	36.10	35.02	32.91	9.67	143.65	15.06	52.88
	全国	378,161	16.45	17.63	36.62	38.76	38.71	9.64	145.74	14.86	54.84

中学校		人数	種目別平均									合計得点
			握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	
			単位	kg	回数	cm	回数	秒	回数	秒	cm	
2年男子	大阪市	2,432	30.47	25.45	41.06	48.67	407.64	75.48	8.17	191.19	21.64	39.36
	全国	377,595	30.05	26.76	43.02	50.52	395.71	83.48	8.06	195.32	21.30	41.50
2年女子	大阪市	2,302	25.02	21.20	44.80	42.96	313.41	52.07	9.01	165.39	13.97	47.26
	全国	356,677	24.24	22.26	44.53	44.57	292.62	56.47	8.89	166.66	13.56	48.38

大阪市の特徴

- ◇ 小・中学校ともに、多くの種目で全国平均を下回っている。
- ◇ 小学校においては、反復横とび・20mシャトルランで全国平均との差が大きい。
- ◇ 小学校女子においては、ソフトボール投げで全国平均を上回っており、中学校においては握力・ハンドボール投げで全国平均を上回っている。さらに、女子においては、長座体前屈も全国平均を上回っている。
- ◇ 体力テストの合計点を5段階で評定した総合評価では、小・中学校ともにA段階の割合が全国平均に比べて少ない。
- ◇ 生活習慣の結果では、朝食摂取率が全国平均より低いことや1日のテレビ(テレビゲーム含)の視聴時間が3時間を越える割合が、全国平均より高いことが明らかになった。